

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

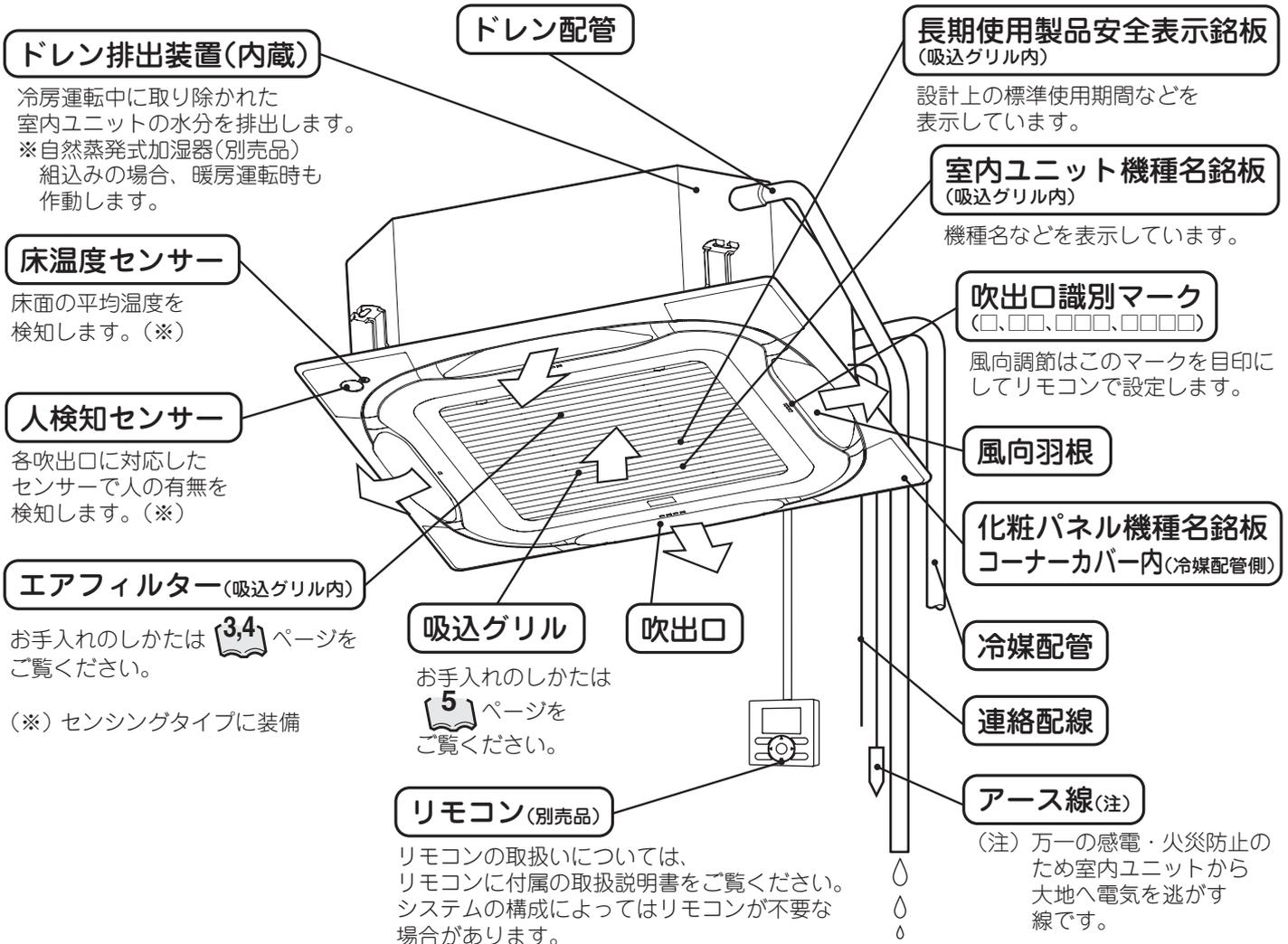
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコン付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。

保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、この取扱説明書と共に大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

各部の名前と働き



ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。
-----------	--	-----------	---

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
---	--------------	---	--------------------	---	------------------	---	------------------

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない

ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。



禁止

注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

●エアフィルターを確実に固定する

吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける

足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する

電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)

別売品は、当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
 - 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか？
防雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

- 次のような場所を選んでいませんか？
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物はありませんか？
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。
- 使用中に異常音がある場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- エアコン専用の回路をご使用ですか？
- 電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

警告

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- エアフィルターを確実に固定する
吸込グリルをツマミ部で確実に固定する
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



- お願い**
- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
 - 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた①

リモコンに「フィルターのお手入れ時期です」が表示されたら、清掃してください。

- 一定時間運転すると表示されます。

お願い

- 表示されるまでの時間を変更することができます。汚れの多いところで使用される場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

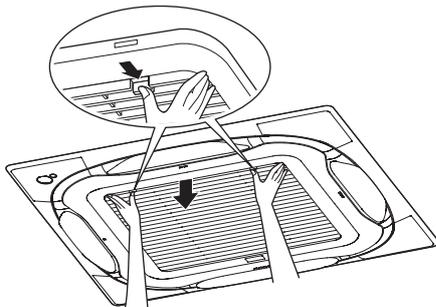
汚れ	表示されるまでの時間
標準	2500時間(1年相当)
多い場合	1250時間(半年相当)

- 汚れが取れなくなりましたら
エアフィルターを交換してください。
(交換用ロングライフフィルターは別売品です。)

6 ページ参照

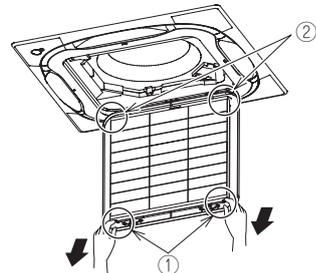
1. 吸込グリルを開けます。

ツマミ部2カ所を押しながら
ゆっくりおろしてください。

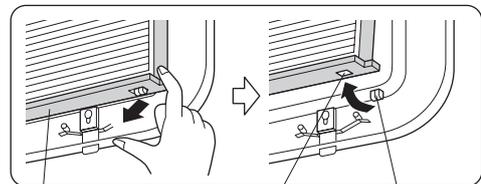


2. エアフィルターを取り出します。

次の順番で作業をしてください。

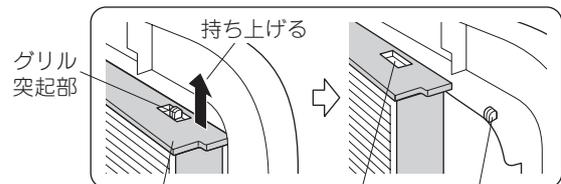


- ①エアフィルターの端部を斜め下に引いて
グリル突起部からエアフィルターの引掛穴部
を外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

- ②エアフィルターを持ち上げてグリル上部の
突起部からエアフィルターの引掛穴部を
外してください。(左右共)



エアフィルター 引掛穴部 グリル突起部

(次ページに続きます。)

エアフィルターの清掃のしかた②

3. 清掃します。

汚れは電気掃除機または水洗いで清掃してください。

汚れがひどい場合、
柔らかいブラシや
中性洗剤を使って
洗ってください。



水切り後、日陰で
乾かしてください。

お願い

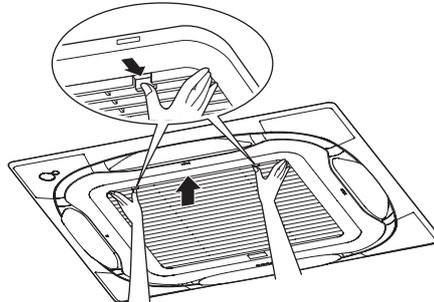
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

4. エアフィルターを取り付けます。

2と逆の手順で取り付けてください。

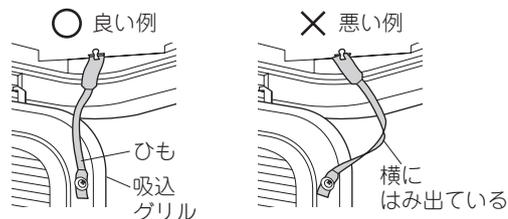
5. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、
最後に2カ所のツマミ部を押しながら、
化粧パネルに確実に固定してください。



お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。



6. リモコンの「フィルターのお手入れ時期です」の表示を消します。

- リモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを行ってください。(運転中と停止中のどちらの状態でも表示を)消すことができます。詳細はリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

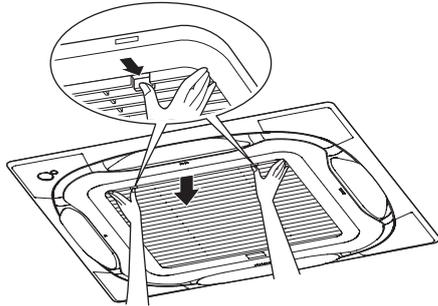
お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- パネルセンサー部の表面に傷をつけないでください。センサーが正しく検知しなくなることがあります。(センシングタイプをご使用の場合)

吸込グリルの清掃のしかた

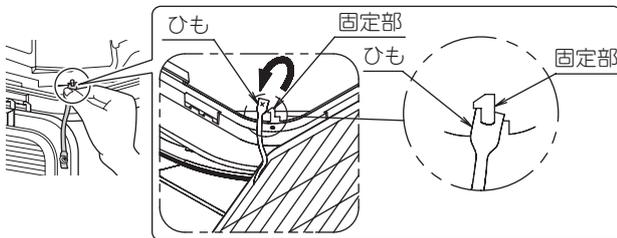
1. 吸込グリルを開けます。

ツマミ部2カ所を押しながらゆっくりおろしてください。



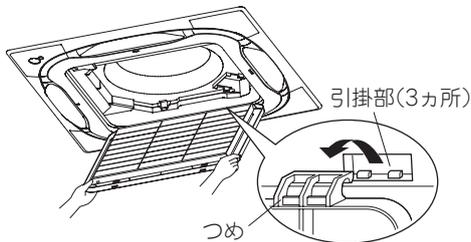
2. 吸込グリルのひもを外します。

化粧パネルの固定部に引っ掛けているひもを取り外してください。(2カ所)



3. 吸込グリルを取り外します。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、持ち上げ、引掛部から外してください。(3カ所)



4. エアフィルターを取り出します。

エアフィルターの清掃のしかた①の

2(〔3〕ページ)を参照してください。

5. 清掃します。

水か中性洗剤で
柔らかいブラシを使って洗い、
水切りしたあと乾いた布で
水をふきとってください。



汚れがひどい場合

- 換気扇・レンジなどの洗剤を直接吹き付け、10分くらいそのままにします。その後、水でよく洗い流してください。

お願い

- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

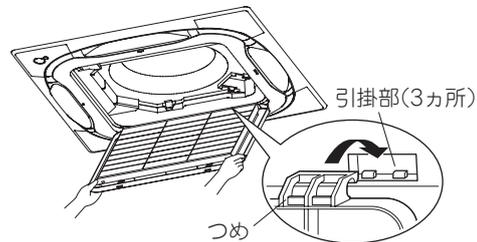
6. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの清掃のしかた②の

4(〔4〕ページ)を参照してください。

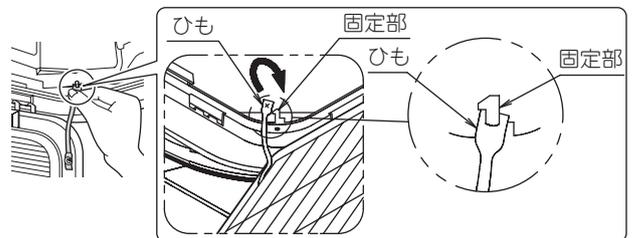
7. 吸込グリルを取り付けます。

吸込グリルを約45°開いた状態にし、引掛部に引っ掛けてください。(3カ所)



8. 吸込グリルのひもを取り付けます。

吸込グリルのひもをパネル固定部に引っ掛けて取り付けてください。(2カ所)

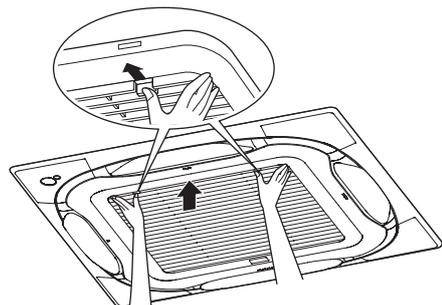


お願い

- 吸込グリルを閉めるとき、ひもをはさみ込むおそれがあります。閉める前にひもが吸込グリルの横からはみ出していないことを確認してください。

9. 吸込グリルを閉めます。

吸込グリルをゆっくり押し上げ、最後に2カ所のツマミ部を押しながら、化粧パネルに確実に固定してください。



基本運転のしかた

冷房・暖房・自動・送風運転のしかた、風向の設定方法、冷暖選択権の変更および設定などの運転操作・動作については、リモコンに付属の取扱説明書の「基本運転のしかた」および室外ユニットに付属の取扱説明書の「運転について」の欄をご覧ください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。ご購入のときには弊社純正品をご指定ください。ただし同時組み込みできないものがあります。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

警告

- 別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター……………汚れが取れなくなったとき、交換してください。

別売品

- 自然蒸発式加湿器……………室内を適当な湿度に保ち、快適な暖房運転ができます。
- 空気清浄ユニット……………高効率電気集塵エレメントにより、室内からタバコの煙やホコリを取り除きます。
- ストリーマ除菌ユニット……………ストリーマ放電によりウイルス・菌を強力に除去します。
- ストリーマ脱臭ユニット……………ストリーマ放電により悪臭成分を分解し、いやな臭いを取り除きます。
- 超ロングライフフィルター……………メンテナンス期間を標準装備のフィルターより延長します。
- 高性能フィルター……………捕集しにくい微細なチリやホコリを捕集し、空気を高度な清浄度に保ちます。

項目		FHCXP~形	56	71	80	90	112	140	160
種類	機能	冷暖房兼用形							
	ユニット構成	分離形							
	凝縮器の冷却方式	空冷式							
	送風方法	直接吹出形							
	定格冷房標準能力(kW)	5.0	6.3	7.1	8.0	10.0	12.5	14.0	
	定格暖房標準能力(kW)	5.6	7.1	8.0	9.0	11.2	14.0	16.0	
音響パワーレベル (dB)	室内ユニット	48	54	56	56	60	61	63	

- (注) ●音響パワーレベルはJIS B 8616：2015に準拠した値です。
 ●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。
 ●能力はJIS B 8616：2015に定める試験条件のもとの値です。

調子がおかしいときは

- サービスを依頼される前に、リモコンに付属の取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の欄をご覧ください。
 または、室外ユニットに付属の取扱説明書の「調子がおかしいときは」の欄をご覧ください。

安全にお使いいただくために

- 本機は業務用エアコンです。
「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。( ページ表1参照)
 - 家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。
(銘板位置は  ページ参照)
- 設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

	※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの長期使用製品安全表示銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

	項 目	規 定
環境条件	電源電圧	単相200V または三相200V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
	負荷条件	住宅
部屋の広さ		機種能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間/日 暖房：7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年 暖房：1,183時間/年

- 設置状況や環境、使用ひん度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、
万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

R410A冷媒

本機にはGWP（地球温暖化係数）が2090のフロン類が
使用されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合には
フロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
(リモコンの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載して
あります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

次ページの表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
空気清浄ユニット		8年	ドレンパン(※)		8年
プリント基板類		25,000時間	リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
熱交換器		5年	ファン		室外:10年、室内:13年
電子膨張弁		20,000時間			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
 ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	クランクケースヒーター	1年	8年
高性能フィルター		1年	自然蒸発式加湿器(※)		3年
ヒューズ		10年	ドレンパン抗菌剤(銀イオン)		8年

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。
 注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。
 ※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
- この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 据付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 **0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは **0120-07-0881** (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。
(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075